

## C I S P Rにおける最近の審議状況

### 6 H小委員会（無線業務保護のための妨害波に関する規格を策定）

#### (1) 共通エミッション規格（IEC 61000-6-3：住宅、商業及び軽工業環境並びにIEC 61000-6-4：工業環境）の改定

両規格の対象範囲となる環境区分の定義や他の製品規格における製品のクラス分類との対応、6面電波暗室（FAR）試験における筐体ポート妨害波の許容値及び測定法などについて審議した結果を反映し、9月末にCDVが発行される見込み。

#### (2) 干渉モデルと妨害波許容値の技術レポート（CISPR/TR 16-4-4）の改定

30 MHz以下における放射妨害波の許容値設定モデルについて審議が行われ、杭州会議までにDTRが発行される見込み。

（※）本文書は、無線保護のための許容値の導出の根拠（考え方）を示した技術文書であり、これを参照することにより、各製品委員会は共通の根拠に立脚した許容値を定めることが可能となる。

#### (3) 太陽光発電システム及び照明用超低電圧屋内設備からの放射モデルの検討

太陽光発電用GCPCからの妨害波放射モデルの検討をしているアドホックグループの検討事項に、照明用超低電圧屋内配線からの妨害波放射モデルが追加され、審議が行われている。

## C I S P R 杭州会議対処方針

2016年のCISPR会議は、10月24日から11月4日までの10日間にわたり、中国の杭州で開催される。日本からは、総務省、国立研究開発法人情報通信研究機構、各大学、各試験機関、各工業会等から〇名が参加予定である。

総会及び各小委員会等の会議において審議等が行われるが、それらの会議における我が国の対応を以下に記す。

### 3 各小委員会の個別対処方針

#### (4) H小委員会

##### ア 共通エミッション規格（IEC 61000-6-3：住宅、商業及び軽工業環境並びにIEC 61000-6-4：工業環境）の改定

両規格についてはCDVの投票期間中であることから技術的な審議は行われな見込みである。主な変更事項は、床置機器及び卓上機器におけるFAR試験への偏波別許容値の導入（情動的附則）、規格を適用する環境分類の整理、直流電源ポートにおける試験対象の明確化と試験条件の一部変更などである。

今回のCDVに未反映の将来検討課題について注意し、状況に応じて対処する。

##### イ 干渉モデルと妨害波許容値の技術報告（CISPR/TR 16-4-4）の改定

本技術文書についてもDTRの投票期間となる可能性が高い。その場合、技術審議は行われな見込みである。主要な変更点は、30 MHz以下の放射妨害波の許容値設定モデルにおける磁界強度の距離換算特性や確率要素の追加である。

##### ウ 太陽光発電システム及び照明用超低電圧屋内設備からの放射モデルの検討

太陽光発電用GCPCに関する審議（B小委員会）及び超低電圧照明装置に関する審議（F小委員会）において我が国から提出した意見との整合性に留意しつつ対処する。